



営農情報

～早期米の管理について～

令和6年度産早期米の田植えが終了しました。今後注意したいところは、田んぼの水管理となります。植付後に苗がうまく活着しなければ収量増加は見込めません。春先は気象条件が安定せず、急な突風が吹くこともありますので、強風時は**深水**、通常時は地温上昇を目的に**浅水**の徹底をお願いします。

除草剤につきましても、散布が遅くなれば効果が得られません。適期散布を心掛けましょう。

◎病害虫防除

①いもち病・イネミズゾウムシ

【ツインターボ箱粒剤 08・・・50 g / 箱】(播種時～移植当日)

イネミズゾウムシ発生が多い水田では、**トレボン粒剤**を施用しましょう。

(2～3 kg / 10 a・収穫 21 日前まで)

②スクミリンゴカイ (ジャンボタニシ)

【スクミノン・・・1～4 kg / 10 a】(移植後：但し収穫 60 日前まで)

※湛水状態 (3～5 cm) で均一に散布し、散布後 7 日間は湛水状態にして、落水やかけ流しをしないよう注意してください。

◎除草剤

(雑草生育初・中期中発剤)

①【サラブレッドKAI 1キロ粒剤・・・1 kg / 10 a】

(移植直後～ノビエ 2.5 葉期・但し移植後 30 日まで)

②【サラブレッドKAIフロアブル・・・500ml / 10 a】

(移植直後～ノビエ 2.5 葉期・但し移植後 30 日まで)

③【ミスターホームランLジャンボ・・・10 パック (500 g) / 10 a】

(移植後 5 日～ノビエ 2 葉期・但し移植後 30 日まで)

④【エンペラー豆つぶ 250・・・250 g / 10 a】

(移植直後～ノビエ 3 葉期・但し収穫 60 日前まで)

※**フロアブル剤・ジャンボ剤・豆つぶ剤の使用上の注意**

- 散布時は湛水状態で、水深 3～5 cm にしましょう。
- 散布直後の落水やかけ流しはしないようにしましょう。(3～4 日はそのままの状態を維持)
- 風の強い日の散布は避けましょう。(一方に薬剤が偏ると薬害を起こす原因となります)



(草生育中後期剤)

①【クリンチャー1キロ粒剤・・・1 kg / 10 a】(湛水散布)

(移植後 7 日～ノビエ 4 葉期まで・但し収穫 30 日前まで)

②【クリンチャーEW・・・100ml / 10 a】

(湛水散布または落水散布・25～100%に希釈して使用) 展着剤を加用

(移植後 20 日～ノビエ 6 葉期・但し収穫 30 日前まで)

※ヒエの残った場所 (初期除草剤の効かなかった所) に落水して散布しましょう。

※広葉雑草 (初期除草剤の効かなかった所) には効果が劣るため、広葉雑草の発生している圃場では、広葉雑草に有効な薬剤を組み合わせ使用しましょう。

③【クリンチャーバスME液剤・・・1000ml / 10 a】(70～100%に希釈して使用)

(落水散布または極浅く湛水して散布) 展着剤は不要 ヒエ+広葉雑草

(移植後 15 日～ノビエ 5 葉期・但し収穫 50 日前まで)

④【バサグラン粒剤・・・3～4 kg / 10 a】(移植後 15 日～55 日・但し収穫 60 日前まで)

(落水散布または極浅く湛水して散布)

⑤【バサグラン液剤・・・500ml～700ml / 10 a】(70～100%に希釈して使用)

(落水散布または極浅く湛水して散布・移植後 15～55 日、但し収穫 50 日前まで)

⑥広葉雑草

【アトリ豆つぶ 250・・・250 g / 10 a】

(移植後 14 日～ノビエ 4 葉期・但し収穫 45 日前まで) (湛水处理・ヒエ+広葉雑草)

⑦【モゲドン粒剤・・・2～3 kg / 10 a】

藻類の多い場所の部分処理・発生始～発生盛期 (収穫 45 日前まで)

※不明な点は各支所営農販売課へお問い合わせください。

